

## 【平成 28 年度ボランティア活動奨励賞受賞者一覧】

1	団体名	すかっ子セミナー実行委員会		
	代表者	高橋 弘二		
	所在地	横須賀市	活動開始時期	平成 14 年 1 月
	活動分野	子どもの健全育成		
	活動の概要	市内で活動する様々な市民団体による小中学生向け地域活動体験講座の開催		
	選考理由	異なる分野の多くの市民団体がネットワークを形成し、それぞれの団体の得意分野を活かして 15 年間継続し、小中学生を対象に専門性の高い地域活動を提供してきた点を高く評価した。 受賞を契機に取組みがさらに発展していくことを期待する。		
2	団体名	特定非営利活動法人ゆうの風		
	代表者	坂田 信子		
	所在地	横浜市港北区	活動開始時期	平成 19 年 10 月
	活動分野	保健、医療又は福祉の増進		
	活動の概要	障害児者とその家族が安心して暮らせるための支援活動		
	選考理由	障害児者とその親への支援活動において、当事者ならではの視点が活きており、「親亡き後の不安」という障害児者の親が抱える共通テーマに光を当て、解決しようとする取組みに、先進性・普及性が認められた点を高く評価した。 受賞を契機に取組みがさらに発展していくことを期待する。		
3	団体名	善行雑学大学		
	代表者	宮田 英夫		
	所在地	藤沢市	活動開始時期	平成 11 年 3 月
	活動分野	社会教育の推進		
	活動の概要	市民のための生涯学習講座の運営		
	選考理由	市民による市民のためのラインアップ豊かな質の高い講座を毎月開催し、17 年にわたり継続して活動してきた点を高く評価した。 また、講師謝礼・受講料が無料という講座において、毎回、多くの参加者が確保されているなど、講座のテーマ設定や講師の選定などにおいて、他団体が学ぶべき点も多くある。		

4	団体名	特定非営利活動法人バーンロムサイジャパン		
	代表者	名取 美穂		
	所在地	逗子市	活動開始時期	平成11年12月
	活動分野	子どもの健全育成		
	活動の概要	タイの HIV/AIDS の孤児たちのための生活・自立支援、エイズ予防等の啓発活動		
	選考理由	<p>日本における活動と日本からの支援をうまく調和させ、タイの子どもたちの自立支援を長きにわたり行い、さらに持続可能なビジネスモデルとしている点を高く評価した。</p> <p>この事業の循環性の仕組みは、社会的弱者を支援するための仕組みとしてモデル性を有しており、他団体が参考とすべき点が多くある。</p>		
5	団体名	特定非営利活動法人WE21ジャパン		
	代表者	藤井 あや子		
	所在地	横浜市中区	活動開始時期	平成10年4月
	活動分野	国際協力		
	活動の概要	フェアトレード商品の販売による国を超えた市民同士の協力関係の構築と理解促進、県内 38 法人によるリサイクル事業		
	選考理由	<p>アジアでの環境破壊や貧困等の課題に向き合い、県内でのリサイクルショップ運営のネットワークを構築したほか、フェアトレードの先駆けとして長く県内で活動し、他団体に取り組みを波及させてきた実績を高く評価した。</p> <p>受賞を契機に取り組みがさらに発展していくことを期待する。</p>		

## 参考 2

### 【ボランティア活動奨励賞審査基準】

基本的な視点	評価項目と配点	
過去の活動に対する評価 10点	先進性・普及性 5点	他のボランティア団体等の活動のモデルとなるような実践的な活動か
	実績 5点	これまで継続して取り組んできた活動は、社会にとって必要性、重要性が高く、地域社会への貢献度が高いものか
今後の活動に対する評価 10点	波及性 5点	地域や社会の課題に光を当てたもので、他のボランティア団体等の活動に大きな影響を与えることが見込まれるか
	継続性 5点	今後も活動を継続させ、地域社会に貢献することが期待できるか
受賞の効果 5点	受賞の効果 5点	受賞を契機として、活動がさらに発展していくことが期待できるか
合計 25点		